



見取り図 「Introduction to subagents」
Anthropic 公式 Claude Academy

Claude Code

Introduction to subagents とは

公式の教材を、順番に

原石工房

隠れた才能に気づき、花開く

この資料について



原石工房

Anthropic とは関係のない、非公式の資料です

公式の学習サイト Claude Academy のコース紹介です

連載「公式の教材を、順番に」の第28～31回で読んでいくコースです

訳や解釈に誤りがあれば、それは私の責任です

agent skills と subagents の違い



原石工房

覚えさせる段から、手分けする段へ

Introduction to agent skills

教えたことを、覚えさせる

やり方を一度だけ書く

当てはまる場面で自動で効く

いまの話に、知識が重なる

場所は、分け合ったまま



Introduction to subagents

仕事を、手分けして任せる

別の場所を立ち上げる

そこで読む・探す・書き換える

返ってくるのは、まとめだけ

途中は、丸ごと捨てられる

同じ場所に足すか、別の場所へ出すか

違いは、場所



原石工房

覚えさせる段から、手分けする段へ

スキルは、いまのやりとりに知識を足します。場所は分け合ったままです

サブエージェントは、別の場所を立ち上げて、そこで仕事をします

返ってくるのはまとめだけ。途中は丸ごと捨てられます

4回を、2つのかたまりで



原石工房

次の4回は、2つのかたまり

持たせる

第28～29回

サブエージェントとは何か／1体作る

効かせる

第30～31回

効く形に設計する／使いこなす

分かれ目は、ひとつだけ

途中の仕事が、もとの流れに要るかどうか

任せ方を決める、4回

① 持たせる



原石工房

第28～29回

サブエージェントとは何か 何が返ってきて、何が捨てられるのか

1体作る /agents と打って、言葉で説明するだけで形になります

② 効かせる



原石工房

第30～31回

効く形に設計する 説明・答えの形・行き詰まりの報告・道具の絞り、の4つ

使いこなす どんなときに助けになり、どんなときに邪魔になるのか

分かれ目は、ひとつだけ



原石工房

途中の仕事が、もとの流れに要るかどうか

前の段で分かったことに次の段が寄りかかるなら、もとの流れでやる

答えだけが必要って、道中はどうしてもよいなら、任せる



連載の通し番号は第28回から第31回

コースとしては第1回から第4回

1回1レッスンで、飛ばさず進みます

その途中は、あなたに要りますか



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く